

豊里地区 大区画圃場 大型コンバインによる収穫



第1期経常賦課金の納入期限は7月15日です。

口座振替契約の方は、6月末と7月15日に口座振替を予定しておりますので、
いずれかで口座引き落としが出来ますよう残高をご確認ください。

〈目次〉

理事長あいさつ	2	平成21年度賦課額一覧表・平成21年度決済金一覧表	8
通常総代会開催	2～3	平成21年度一般会計・特別会計予算	9～10
平成19年度決算報告	4～5	21世紀創造運動活動（水の道探検隊）	11
平成19年度財産目録	6	先人の足跡（六ヶ村堰）	12～13
平成20年度補正予算	6～7	総代現地研修	13
伝言板	7	農地・水・環境保全対策活動紹介・表彰	14～15
		お知らせ	16



理事長挨拶

白川土地改良区
理事長 高橋 昭一

広報「しらかわ」の発行にあたり、組合員の皆様にご挨拶申し上げます。

組合員の皆様には、春の農作業の繁忙期に入り、気持ちを新にして作業に励まれておられる事とご拝察申し上げます。

また、本土地区改良区の業務運営、事業推進にご理解とご協力を頂いております事に心より感謝申し上げます。

さて、現在の日本はかつて無い経済不況の中にあり、雇用の不安や生活不安と大変混迷をいたしております。要因を辿れば、外需依存の輸出産業の重視、経済効率主義の産業構造の不均衡がもたらした結果と考えられます。

エコノミー（経済）、エコロジー（生物・環境）の均衡ある発展と、人が生きる上での価値観の変化が現在求められています。

農業は、食料生産のみならず国土の保全、水源の涵養景観や文化の伝承等、多面的公益的機能に寄与しており、この事への国民的評価がこれから益々高くなる事が期待されております。

昨年の用水状況であります。春からの好天により降雨量が極端に少なく、特に犬川、黒川水系では河川の自流が早くから底をつき、白川ダムからの取水だけとなりました。そこで、例年より二週間も早く間断かん水を実施し節水の協力をお願いいたしました。稲作に支障を来す事なく豊稔の秋を迎えられました事は、稲作農業に関する本土地区改良区として責任を果たした事は喜びとするところであります。近年のかがい期間においては、夏場の小雨の傾向や一時

的に極端な降雨と節水もさる事ながら災害への不安もあり、組合員の皆様には効率的な水使用と災害が最小限となるようご理解とご協力をお願いするものであります。そして、今更ながら先人の方々が用水の確保と災害を防ぐため、白川ダムの建設に向けて奔走されましたご努力とご功績に感謝申し上げますと共に、この事によって家屋・田畑を湖水に沈め、郷を離れた百五十有戸の協力者の方々に感謝申し上げます。後世に伝えていかなければと思うところであります。

本土地区改良区管内の事業は、豊里地区経営体育成基盤整備事業が平成二十年度で整地工が終了し付帯工事を実施しております。本年度は、残工事と換地処分に向けた測量と平成二十二年度完了に向けて順調に進んでおります。また、認定農業者が中心となり農業法人「ファーム豊里」が設立されまして稲作経営の将来の姿、そして効率的な基盤作りが確立されました。

白川左岸地区は、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業・団体営の新農業水利システム事業と水路の新たな整備・老朽化した水路の改修を行ない用水の効率的利用と維持管理費の軽減を目指しております。

川西町管内では、こうぞく地区が段階的基盤整備事業の調査と併行して大型ほ場への再整備に向けての調査設計を行ないます。宮地地区では、段階的基盤整備事業の調査を行ない将来に向けての地区のビジョンを検討いたします。双方ともに、将来につなげる稲作基地として生き残っていくための生産基盤作りであり、周辺地域への先駆者の立場という意識を持つものと期待するものです。

農地・水・環境保全向上対策は二年を経過し、各地域の保全協議会の活動も活発になって来ております。水路と施設の点検や補修・敷砂利・

畦畔築立補修・花植え等の環境美化・生き物調査等と特色ある活動が行なわれており、用排水施設の長寿命化や管理基準の向上が計られ、引いては地域の方々の連体強化につながっている事に、この事業の成果を感じます。そして、今後更にこの事業が持続発展するように期待するものであります。

最後になりますが、三月十二日開催されました平成二十年度通常総代会に於きまして、上程いたしました全議案、原案どおり議決頂いたところであります。事にあたり迅速な対応、効率的な執行に心掛け組合員の皆様の信頼を得るよう、役員一同が精一杯取り組んでまいりますので尚一層のご協力を何卒よろしく申し上げます。

平成二十年度

通常総代会開催

全議案原案どおり可決

平成二十年度通常総代会が、去る三月十二日午後一時三十分より本区事務所にて開催されました。

総代定数五十名中四十五名が出席し、来賓に大浦置賜総合支庁産業経済部西置賜農村整備課技術主幹、後藤飯豊町長、遠藤長井市農林課長、高橋川西町産業振興課長のご臨席をいただきました。

議長には、川西町大字東大塚遠藤修一総代が選任され、慎重なる審議の結果、全議案原案通り可決されました。

● 議事

報第一号 平成十九年度事業報告の承認について

認第一号 平成十九年度一般会計歳入歳出決算書の承認について

認第二号 平成十九年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について

認第三号 平成十九年度特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について

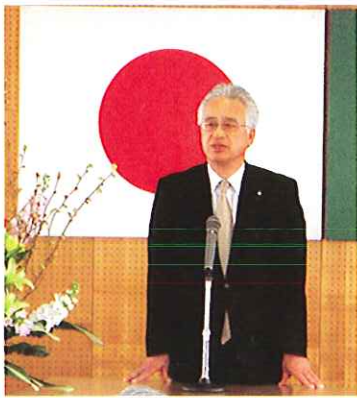
認第四号 平成十九年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出決算書の承認について

認第五号 平成十九年度特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について

認第六号 平成十九年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出決算書の承認について

認第七号 平成十九年度職員退職給与基金積立歳入歳出決算書の承認について

認第八号 平成十九年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について



後藤飯豊町長

認第九号 平成十九年度特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十号 平成十九年度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十一号 平成十九年度財産目録の承認について

認第十二号 専決処分した事件の承認について

認第一号 平成二十一年度事業計画(案)の議決について

認第二号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の拠出議決について

認第三号 定款の一部改正(案)の議決について



大浦西置賜農村整備課技術主幹

認第九号 平成十九年度特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十号 平成十九年度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十一号 平成十九年度財産目録の承認について

認第十二号 専決処分した事件の承認について

認第一号 平成二十一年度事業計画(案)の議決について

認第二号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の拠出議決について

認第三号 定款の一部改正(案)の議決について

認第四号 平成二十一年度一般会計賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

認第五号 平成二十一年度役員報酬額及び総代、役員の費用弁償額の議決について

認第六号 平成二十一年度一般会計歳入歳出予算(案)の議決について

認第七号 平成二十一年度一時借入金

金の議決について

議第八号 平成二十一年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第九号 平成二十一年度特別会計償還事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十号 平成二十一年度特別会計償還事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十一号 平成二十一年度特別会計かんがい排水事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十二号 平成二十一年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十三号 平成二十一年度政策公庫資金(農林水産事業)の借入及び償還方法の議決について

議第十四号 平成二十一年度一時借入金の議決について

議第十五号 平成二十一年度特別会計基盤整備事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十六号 平成二十一年度特別会



遠藤修一総代会議長



計基盤整備事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十七号 平成二十一年度政策公庫資金(農林水産事業)の借入及び償還方法の議決について

議第十八号 平成二十一年度一時借入金の議決について

議第十九号 平成二十一年度決済金の額の議決について

議第二十号 平成二十一年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十一号 平成二十一年度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十二号 平成二十一年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十三号 平成二十一年度特別会計特別積立金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十四号 平成二十一年度特別会計基本財産積立金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十五号 平成二十一年度加入金の額の議決について

議第二十六号 平成二十一年度加入金の額の議決について

議第二十七号 平成二十一年度加入金の額の議決について

議第二十八号 平成二十一年度加入金の額の議決について

計決算の報告

一般会計

歳入合計 265,187,337円

組合費	197,939,320円	平成19年度賦課金
助成金	1,520,000円	市町より
補助金	8,460,000円	維持管理適正化事業
受託料	0円	
雑収入	11,008,801円	過年度賦課金、手数料等
繰越金	13,876,628円	前年度より
繰入金	30,367,588円	各特別会計より
不動産収入	2,015,000円	土地・建物賃貸料
財産収入	0円	

歳出合計 243,981,351円

事務所費	85,486,054円	総代・役員費、事務費等
維持管理費	115,090,331円	維持管理費
区債及び借入金	122,260円	一時借入利息
財産費	31,952,000円	退職給与基金、特別積立金、基本財産積立金
負担金及び寄附金	10,873,776円	法定負担金、その他負担金
財産取得費	456,930円	用地買収費

繰越額 21,205,986円

特別会計

歳出合計 24,535,106円

基幹水利施設管理事業

歳入合計 24,535,106円

基幹水利施設管理事業
24,535,106円

基幹水利施設管理事業
24,535,106円

繰越額 0円

歳出合計 129,631,710円

償還事業

歳入合計 141,069,247円

区債及び借入金
127,664,122円

賦課金
75,530,467円

繰出金 1,967,588円

繰越額 11,437,537円

助成金 9,281,369円

雑収入 2,887,557円

繰越金 13,774,835円

繰入金 39,595,019円

歳出合計 13,591,711円

かんがい排水事業

歳入合計 13,840,140円

事業費
3,418,050円

分担金及び負担金
6,346,000円

賦課金
4,201,090円

区債及び借入金
6,248,000円

事務費 1,976,131円

区債及び借入金

繰越額 248,429円

1,851,530円

補助金 3,000,000円

繰越金 340,453円

雑収入 50,597円

平成19年度会

歳出合計 48,686,648円

基盤整備事業

歳入合計 49,617,195円



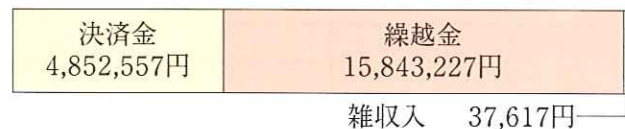
豊里地区



歳出合計 3,000,000円

地区除外等処理決済金

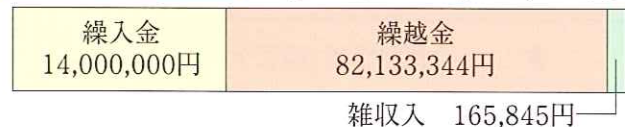
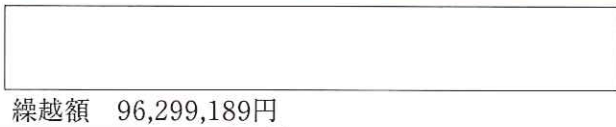
歳入合計 20,733,401円



歳出合計 0円

職員退職給与基金積立

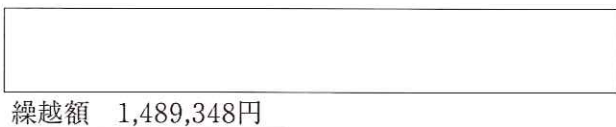
歳入合計 96,299,189円



歳出合計 0円

役員退任慰労金積立

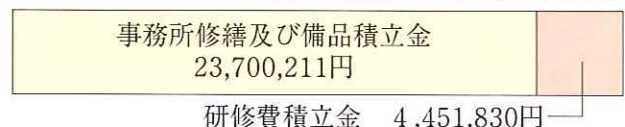
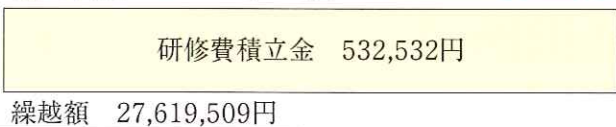
歳入合計 1,489,348円



歳出合計 532,532円

特別積立金

歳入合計 28,152,041円



歳出合計 23,000,000円

基本財産積立金

歳入合計 171,992,805円



平成19年度 財 産 目 録

【資産】

【負債】

(単位：円)

摘 要		金 額		摘 要		金 額			
流動資産			363,469,311	長期負債			222,741,276		
	現金及び預金	預 金	33,822,499		借 入 金	農 林 公 庫		91,257,603	
	未 収 入 金	未収賦課金使用料	36,591,560			山形おきたま協 農			131,483,673
	特 定 資 産	各種積立金	143,141,447						292,134,252
	基 本 財 産	出 資 金 等	149,913,805						
固定資産			116,206,020	短期負債	積 立 金	地 区 除 外 等 処 理 決 済 金	17,733,401		
	土 地	事務所敷地、他	64,593,272			職 員 退 職 給 与 基 金 積 立	96,299,189		
	建 物 設 備 費	事務所、設備	44,089,297			役 員 退 任 慰 勞 金 積 立	1,489,348		
	機 械 器 具	機械、車輛	3,624,401			特 別 積 立 金	27,619,509		
	備 品	机、事務機器	3,899,050			基 本 財 産 積 立 金	148,992,805		
資 産 合 計			479,675,331	負 債 合 計			514,875,528		

平成20年度会計別補正予算総括表

(単位：千円)

◎ 一 般 会 計

歳 入		◎ 一 般 会 計		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
3. 補 助 金	3,600	4,600	1,000	—	1. 事 務 所 費	97,210	104,910	7,700	—
6. 繰 越 金	5,000	21,200	16,200	—	2. 維 持 管 理 費	84,010	86,510	2,500	—
					4. 財 産 費	42,060	49,060	7,000	—
計	239,560	256,760	17,200	—	計	239,560	256,760	17,200	—

◎ 特 別 会 計 償 還 事 業

歳 入		◎ 特 別 会 計 償 還 事 業		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
4. 繰 越 金	10,423	11,437	1,014	—	2. 区債及び借入金	63,519	65,781	2,262	—
5. 繰 入 金	16,000	17,248	1,248	—					
計	73,734	75,996	2,262	—	計	73,734	75,996	2,262	—

◎ 特 別 会 計 地 区 除 外 等 処 理 決 済 金

歳 入		◎ 特 別 会 計 地 区 除 外 等 処 理 決 済 金		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
2. 繰 越 金	13,000	17,773	4,733	—	1. 繰 出 金	6,500	7,748	1,248	—
					2. 積 立 金	11,505	14,990	3,485	—
計	18,005	22,738	4,733	—	計	18,005	22,738	4,733	—

◎ 特 別 会 計 基 本 財 産 積 立 金

歳 入		◎ 特 別 会 計 基 本 財 産 積 立 金		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
1. 財 政 調 整 基 金	43,533	48,533	5,000	—	1. 財 政 調 整 基 金	43,533	48,533	5,000	—
2. 事 業 積 立 金	132,470	134,470	2,000	—	2. 事 業 積 立 金	132,470	134,470	2,000	—
計	176,003	183,003	7,000	—	計	176,003	183,003	7,000	—

歳入

◎ 特別会計かんがい排水盤整備事業

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 白川左岸地区	43,920	44,200	280	—	1. 白川左岸地区	43,920	44,200	280	—
計	43,920	44,200	280	—	計	43,920	44,200	280	—

歳入

◎ 特別会計基盤整備事業

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 豊里地区	45,770	46,402	632	—	1. 豊里地区	45,770	46,402	632	—
計	50,771	51,403	632	—	計	50,771	51,403	632	—

伝言板 こんな時は必ず届出をお願いします!!

○農地を売買及び交換並びに贈与したとき ○農地を賃借又は解約したとき

○農業者年金などにより経営を移譲するとき ○組合員が亡くなられたとき

☆組合員の交替については、「組合員資格得喪通知書」の提出義務があります。

○農地を転用する場合（田を宅地等にする場合）

○公共事業等（道路改修、河川改修等）により農地が買収されたとき

「地区除外申請書」「農地転用等の通知」の提出をお願いします。

地区除外については決済金を納入していただくことになります。

☆上記組合員交替、地区除外について届出がない場合は賦課面積の変更はできませんので必ず届けて下さい。

○自動口座振替について組合員の交代に伴い口座の変更があったとき

「貯金口座振替依頼書（変更）」の提出をお願いします。

☆賦課金の口座自動振替をご利用ください。お手続きは改良区でお願いします。

取扱金融機関は山形おきたま農業協同組合と、山形銀行です。 **担当 総務課賦課徴収係**

○土地改良施設を出入り口に利用するとき

○家庭排水や浄化槽処理水を水路に放流するとき

「土地改良財産他目的使用承認申請書」の提出をお願いします。

○公共下水道、集落排水処理施設等に接続したとき

「土地改良財産他目的使用中止届」の提出をお願いします。

★平成21年4月より、個人住宅への進入路、個人住宅の浄化槽排水の他目的使用を新規申請する場合、使用料・手数料を承認時一括前納していただくこととなりました。

以前より使用されている場合は更新手続きのご連絡をいたしますのでご来所願います。

その際に使用料についてご説明いたします。

担当 管理課維持管理係

《ホームページ開設》

平成21年4月より白川土地改良区のホームページを開設いたしました。

アドレスは

<http://www.shirakawa-sanae.jp>

です。ぜひご覧ください!!



個人情報の取扱について

組合員皆様の個人情報の管理については、個人情報の保護に関する法律に基づきその適正な取扱を確保するため農林水産分野における土地改良区が講ずべき措置に関するガイドラインにより業務を遂行しております。

尚、窓口等では本人確認等でお手数をかける場合もありますが、ご理解の上ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成21年度 賦課額一覧表

第一期賦課期日 5月15日：納入期限 7月15日

第二期賦課期日 5月15日：納入期限 11月15日

◎ 一般会計

(平成20年度と比較し10a当り200円の減額となります。)(単位：円)

会計種別	10 a 当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額
経常賦課金	4,800	4,800	—

◎ 特別会計(償還事業)

(単位：円)

会計種別		10 a 当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較	会計種別		10 a 当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
高豆 一ノ宮地区	かんばい	2,000	—	2,000	-1,500	犬川上流、玉庭地区土地総	500	—	500	-800	
	暗渠 A 地区	4,000	—	4,000	-1,700	大塚地区かんばい	2,000	—	2,000	—	
	暗渠 B 地区	5,000	—	5,000	-1,700	柳沢地区 A 地区	1,500	—	1,500	-2,000	

大堰・寺分・三本柳・二反田地区かんばい事業、高峰地区排水対策特別事業は地元負担が完了いたしました。

◎ 特別会計(かんがい排水事業)

(単位：円)

会計種別	10 a 当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
白川左岸地区	1,000	—	1,000	+100

◎ 特別会計(基盤整備事業)

(単位：円)

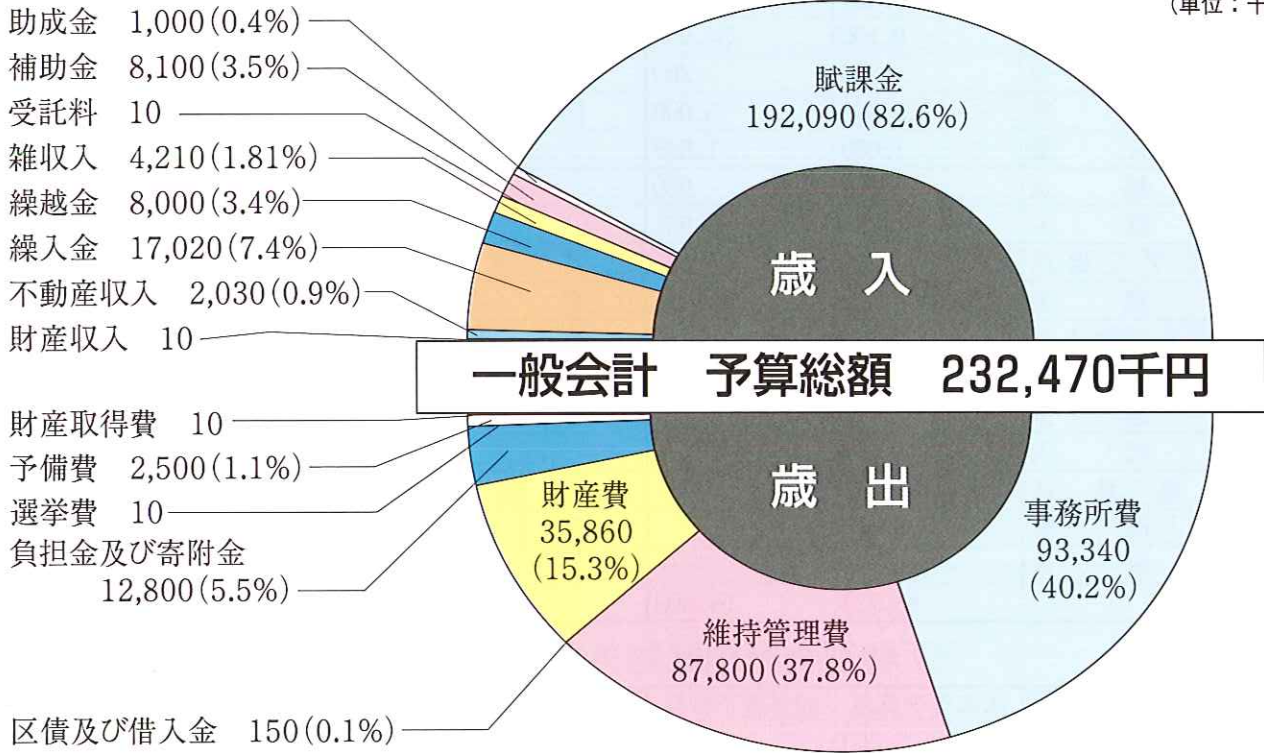
会計種別	10 a 当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
豊里地区	5,800	—	5,800	—
こうずく地区	1,000	—	1,000	+1,000

平成21年度 地区除外等決済金額一覧表

事業種別		m ² 当り決済金額	事業種別		m ² 当り決済金額
国営土地改良事業	維持管理費	85円75銭	犬川上流、玉庭地区	土地総事業	3円52銭
国営附帯県営事業	維持管理費	29円52銭	大塚地区	かんばい事業	5円43銭
維持管理費	一般	20円01銭	柳沢地区	A 地区	5円28銭
高豆、一ノ宮地区	かんばい事業	0円89銭	白川左岸地区	事業	4円53銭
	暗渠排水 A 地区	4円13銭	白川左岸地区新農業水利システム保全対策事業		11円88銭
	暗渠排水 B 地区	4円89銭	豊里地区	事業	159円77銭

平成21年度 一般会計予算のあらまし

(単位：千円)



平成21年度特別会計予算総括表

(単位：千円)

歳入 ◎ 特別会計基幹水利施設管理事業 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
基幹水利施設管理事業	16,390	15,950	基幹水利施設管理事業	16,390	15,950
管理体制整備促進事業	9,700	9,980	管理体制整備促進事業	9,700	9,980
計	26,090	25,930	計	26,090	25,930

歳入 ◎ 特別会計償還事業 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	10,450	18,661	繰出金	12,220	10,215
助成金	9,020	9,039	区債及び借入金	51,220	65,781
雑収入	20,034	14,301			
繰越金	10,335	11,437			
繰入金	13,591	17,248			
財産収入	10	10			
区債及び借入金	-	5,300			
計	63,440	75,996	計	63,440	75,996

歳入 ◎ 特別会計かんがい排水事業 (白川左岸地区) 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	5,395	4,860	事務費	2,000	2,300
区債及び借入金	29,030	21,860	事業費	46,120	31,780
補助金	24,210	17,040	分担金及び負担分	7,920	7,920
繰越金	604	339	区債及び借入金	3,300	2,200
雑収入	101	101			
計	59,340	44,200	計	59,340	44,200

歳入

◎特別会計基盤整備事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
1. 豊里地区	30,020	46,402	1. 豊里地区	30,020	46,402
賦課金	4,321	4,321	事務費	3,650	4,150
区債及び借入金	9,100	34,000	事業費	14,500	5,600
補助金	200	200	分担金及び負担金	9,250	34,150
受託料	13,500	5,000	区債及び借入金	2,620	2,502
繰入金	1,000	1,000			
繰越金	842	930			
雑収入	1,057	951			
2. こうずく地区	10,302	5,001	2. こうずく地区	10,302	5,001
賦課金	970	-	事務費	42	-
区債及び借入金	4,330	-	事業費	10,200	5,001
補助金	5,000	5,000	区債及び借入金	60	-
繰越金	1	-			
雑収入	1	1			
3. 宮地地区	5,001	-	3. 宮地地区	5,001	-
補助金	5,000	-	事務費	5,001	
雑収入	1	-			
計	45,323	51,403	計	45,323	51,403

歳入

◎特別会計地区除外等処理決済金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
決済金	2,000	5,000	繰出金	10	7,748
繰越金	12,000	17,733	積立金	14,000	14,990
雑収入	10	5			
計	14,010	22,738	計	14,010	22,738

歳入

◎特別会計職員退職給与基金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	10,000	10,000	給与金	90,900	106,340
繰越金	80,600	96,200			
雑収入	300	140			
計	90,900	106,340	計	90,900	106,340

歳入

◎特別会計役員退任慰労金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
納入金	450	450	給与金	3,304	2,400
納付金	450	450			
繰越金	2,400	1,496			
雑収入	4	4			
計	3,304	2,400	計	3,304	2,400

歳入

◎特別会計特別積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
事務所修繕費及び備品積立金	28,870	26,227	事務所修繕費及び備品積立金	28,870	26,227
研修費積立金	7,740	5,821	研修費積立金	7,740	5,821
計	36,610	32,048	計	36,610	32,048

歳入

◎特別会計基本財産積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
財政調整基金	53,640	48,533	財政調整基金	53,640	48,533
事業積立金	150,600	134,470	事業積立金	150,600	134,470
計	204,240	183,003	計	204,240	183,003

犬川小学校四、五年生三十一人の
「第六回 水の道探検隊」

二十一世紀

土地改良区創造運動

この活動は、土地改良区が果たしている役割を改めて見直すとともに、多面的な機能確保など地域住民が期待する新たな役割に対しどのように土地改良区が取組んで行くか、地域の皆さんと考える事を提案する運動です。

平成二十年十月十四日川西町立犬川小学校四年生十五名、五年生十六名を対象として「水の道探検隊」を行いました。これは、地域を担う子供たちを対象として、改良区の役割や農業用水利施設の本来の機能のほか多面的な働きなどを理解してもらうためのものです。

当日は、犬川小学校を出発し、水士里ネット白川の中央管理所、白川ダム、犬黒幹線トンネル出口、小松頭首工、他屋分水工を見学し、自分たちの地域に水は何処を通ってくるのか、水の道を探検しました。移動中は、水路やダムに関するクイズを行い、楽しく学ぶ事ができました。

自分の目で水の大切さを学ぶ



犬川小学校
小野 諭

十月十四日、本校の四年生と五年生三十一名が、「白川の水の道」探検隊に参加しました。今回は、白川ダムの水が自分たちの住んでいる犬川地区の田まで、どのようにしてやってくるのかを確かめる旅です。

子ども達は、まず豊富な水量を誇る壮大な白川ダムと川西地区に水を送るために山をくり貫いた5キロに及ぶ地下トンネルの存在に目を丸くしていました。その後、頭首工や分水工を経て、学校近くの水槽まで水が流れていることを自分の目で確かめ、いかに様々な工夫をして水が運ばれているのかを知りました。そして、だからこそ水を大切にしなければいけないことを感じとっていました。

子どもにとっては、何と云っても自分の目や耳で見たり聞いたりすることが理解を深めるうえで最も大切です。その意味でも今回は、滅多にできない貴重な体験となりました。お世話になりました白川土地改良区をはじめ関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

白川水の道探検をして
子供たちの声

四年 高橋 春香

今日私が印象に残ったのは、小松頭首工です。水の流れがすごく早かったのでびっくりしました。白い家の機関室みたいなところに茶色の大きな機械がありました。私は「なんだろう」と思いました。その部屋の窓から外を見たら下に水がたくさんあって「すごいなあ」と思いました。しかも高いところだったから怖かったです。でも、とても楽しかったです。ありがとうございました。

四年 大河原雄介

ぼくは、白川ダムの水が流れてくる堰は、とてもでかくてびっくりしました。上から見ると、とっても深いところでした。「落ちたら死んでしまうよ」と言われ少しびびりました。となりには、でっかい石が積んでありました。

白川ダムにはもう一度行きたいです。



四年生

五年 高橋 亜紀

今日は白川ダム見学で、とても楽しみにしていました。バスで中央管理センターに行き、ボタンがたくさんあってびっくりしました。管理センターでは白川ダムの様子や、小松頭首工の様子などいろいろな所をカメラで見ることができすごいと思いました。いろいろ教えてくださった皆さんにはとても感謝しています。又、見学したいと思っています。今日はありがとうございました。

五年 渡邊 千紗

今日は、白川の道すじを見学してとても楽しかったです。まず、最初の場所ではボタンがたくさんある所でとてもびっくりしました。ほかに、小松頭首工や白川ダムなどとても迫力があってとても興味がありました。この経験は社会の勉強で生かせそうですね。水士里ネット白川の皆さんありがとうございました。



五年生

先人の足跡

六ヶ村堰

古文書には、慶長十四年（西暦一六〇九年）と記録されている。

本年は、平成二十一年（西暦二〇〇九年）であり、今から丁度四〇〇年前である。

この年に大塚堀（菊田堀）の開削がはじまった。六ヶ村堰の水の歴史がはじまったのである。五年の歳月を費やし、先人達の汗の結晶により大塚堀に水が流された。

この時の徳川幕府の将軍は、二代目秀忠である。米沢藩主は、上杉景勝であった。

大塚堀の開削が終わり、大地に揺るぎのない水が流れ田地を潤し、村民は米づくりの安住の地として村を形成していた。

その後、幾多の変遷を経ながら添川・今泉村・歌丸村・西大塚村・大塚村・東大塚村は、水を絆として六ヶ村堰を形づくり、幾星霜水を和の媒体として平和な暮らしを豊かな村にすごしてきた。水の歴史には喜怒哀楽が常につきまとうて来た。洪水があり旱天がそれである。しかし、白川水系の堰では、過去の暗い歴史に光明を射してくれている。相互扶助の協力体制を培い困難を乗り越えてきた。

近年になり、この平和な水の歴史を無残に打ち砕くことが起こった。それは、昭和四十二年の八月末の羽越豪雨による未曾有の大洪水である。白川より取水する六ヶ村堰堤は、先人の苦

勞が何事もなかった様に跡形もなく土砂とともに流失してしまった。「取水不能」心臓がとまり血液が流れなくなった肉体が活動するであろうか。我を失って堰堤に立ち尽くした。かたわらを見れば、これ迄に見える事のなかった上流の長堀堰堤が跡形もなく流失している。「人間の英知は、常に飛躍する。」そして「脳裏に電光の如く未来が走った。」誰の考えも同じだった。長堀堰との合同の取水と恒久的な取水施設を、この白川に造る。農家組合員の結束したあつい熱望と、山形県・飯豊町の尽力により完成した。真新しい長瀬堰頭首工が、私たちに今、豊富な清流を送り続けてくれている。そして肥沃豊饒の土地が息吹いている。未来永劫に苦もなく水の恩恵を享受したい。先人の味わった苦しい水との戦いは我々と我々の子孫にはさせたくない。これは、偽りのない人間としての「願望」！

そして生まれた白川ダムが間もなく完成しようとしている。白川土地改良区への水利団体の統合が叫ばれ、国・県営白川地区のかんがい排水事業が平野部に水路の姿を現わして来ている。新しい水の歴史の夜明けであり、今為すべきことは今敢然として為す。先人の功績に思いをよせ寿ぐべき史実である。

六ヶ村堰の「昔と今」として先人の人達への思いを浮かべながら、新しい水の歴史の夜明けの紐を引く。そこには輝かしい未来がある。夢にまで見た新しい水の歴史の黎明が、そこにある。

「先人よ御照覧あれ。」末裔の知恵は先人を凌ぐものであることを。」

* 「六ヶ村堰」昔と今 昭和五十一年発行 水の歴史より抜粋、さらに修正加筆したものです。

六ヶ村堰の

今と昔



取水口があった場所



分水口があった場所



堰口及び取水口樋門



六ヶ村堰 長堀堰の分水口

総代現地研修会

平成二十年七月十二日総代三十四名、役員十三名の参加により総代現地研修会を行いました。研修内容については、用水管理システムの施設である中央管理所現在事業実施中の豊里地区経営体育成基盤整備事業により造成された大区画圃場、長瀬、西高峰、小松の各頭首工、白川ダムの犬川、黒川取水塔管理所、犬黒幹線の分水工等の水利施設を現地視察しました。その後、めざましの里物産館において意見交換会を行いました。



意見交換会



黒川分水工



長瀬頭首工



用水管理システム 中央管理所

大塚地内
県道川西伊佐沢線のガード



旧国道一三三号のガード（今泉地内）
欄干に名称がある



昭和四十二年八月二十八日
集中豪雨による白川の氾濫



未曾有の大水害に見舞われ、孤立で濁流と闘う長瀬橋

農地・水・環境保全対策

(豊田地区内)活動紹介



長井白川右岸地域
資源保全協議会

会長 舩山 榮治

風薫る候、組合の皆様には益々ご健勝にお過ごしとの事と拝察申し上げます。平成十七年度より地域の自然保護、農業施設等を地域の皆様全員で保全活動し、維持管理をすべく、行政機関より指導説明がありまして、先人の残してくださった有形財産、風光明媚な地域の景観を後世に引き継いで行く責務と使命を感じながら、すでに環境保全型集落営農を設立され先進的農業を行っている農業者の方々と会合をもちながら、地区長会連合会、集落座談会、農業者代表、組織代表の方々と一年間を通して取組むべく説明会を行ってきました。その間市当局はもとより、白川土地改良区の方々の協力を得て、啓発活動、計画策定を進めて、白川土地改良区右岸地域三つの地区（今泉、歌丸、河井）の農用地三八四畝、

用水路七万四、七五四m、農道二万七、四四〇mの資源、農業者数一七六名、非農業者協議会、地区連絡協議会団体等三三団体のご理解ご協力を賜り平成十八年四月協議会設立に至った次第です。地域的に市内でも有数の公共施設の多い地域でもあり景観形成が大切であるとの認識を持ち、三地区で特色を生かすべく、又市内でも優良農地でもある当地区の農業施設保全が急務であることを確認しながら計画の策定、実践活動、具体的には景観形成のための施設への花の植栽、用水ため池周辺の草刈整備等、桜並木の周辺整備、農業施設の開水路、水路の泥上げ、路肩の草刈、施設の見回り点検、農道の敷砂利補修、農道の不陸整正、子供会と地区あげてのゴミ拾い回収活動等見えない部分、理解出来ない部分もあり、紆余曲折をしながらでしたが実践活動を展開してまいりました。二年目の平成二十年度は前年度の組織活動をさらに充実を図るべく情報交換会、参加新規事業への取組み等への勉強会等を行いつつ営農支援事業にも取組み百二十畝程の水稻の特別栽培米の先進的な取組みを実施しました。又、共同活動での農用地施設の長寿命化を図る事業、畦畔の再

構築、排水溝の整備等の実践を行ってきました。今後三年間の事業年度がありますが大切な保全事業が一過性でない将来に向け、永久に続く資源保持、管理をどの様に進めていくのかを二カ年間を通して地域の方々の共通認識と共通理解が得られるものと思いますが、行政当局の一層のご指導を賜りたいものです。この事業に取組むために国、県、市農林課、土地改良区などの担当者が昼夜を問わずの座談会、説明会、指導等に対し手厚くお礼を申し上げまして経過と、地域特色実践内容をご報告申し上げます。



計画策定検討会

表彰

第二十七回山形県土地改良事業推進大会が平成二十年十一月十四日山形交流プラザ「ビックウイング」で開催されました。

大会席上、長年土地改良事業に貢献された人々の表彰が行われ、山形県知事感謝状が十六名の方々に、山形県土地改良事業団体連合会長表彰状が四十一名の方々に贈られました。本区では左記の方々が表彰の栄に輝きました。

山形県知事感謝状

総括監事 舟山 兵八郎
管理課長 樋口 清志



樋口課長 舟山総括監事

土地連合会長表彰

副理事長 横澤 浩雄
理事 近野 昌信
監事 横山 晶一



横山監事 横澤副理事長 近野理事

全国先導的換地技術者表彰

平成二十一年度土地改良換地対策協議会が平成二十一年四月二十四日東京都全国都市会館において開催され、その席上、当改良区田辺俊文管理課長補佐が全国先導的換地技術者表彰の栄に輝きました。

田辺補佐は、白川右岸地区、黒川地区、長橋地区、諏訪田仲地区の換地業務を担当しました。現在その経験を生かし豊里地区経営体育成基盤整備事業、こうずく地区、宮地地区段階的基盤整備等実証調査事業を担当しております。



環境用水の利用、管理、消防団と合同による土砂上げ



ゲート点検

長井白川右岸環境保全活動状況

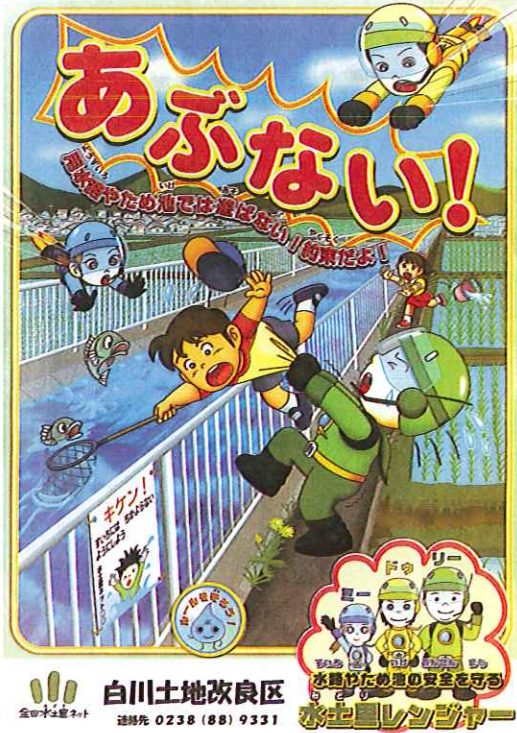


子供会育成会による地区内のゴミ拾い



水路の目地補修技術の研修

お知らせ



子供達を水の事故から

守りましょう。

用水路の通水量は、気象条件や営農上不定期に増減して危険です。各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。

子供を用水路付近で

絶対遊ばせないように

注意しましょう。

事務局構成

平成二十一年度事務局構成をお知らせいたします。

総務課

課長 井上 貞夫
 課長補佐 鈴木 成一
 庶務会計係長 (鈴木補佐兼務)
 庶務会計係主任 木全 貴子
 庶務会計係主事補 竹田 亜津美
 賦課徴収係長 (鈴木補佐兼務)
 賦課徴収係主任 原 拓磨
 賦課徴収係主事補 高橋 昌一郎

管理課

課長 青木 茂
 課長補佐 田辺 俊文
 維持管理係長 横山 雅彦
 維持管理係主任 猪股 拓也
 維持管理係主事 舟山 千晶
 事業係長 (田辺補佐兼務)
 事業係主事 小関 雅史
 管理課付臨時職員 横澤 一史

休日出務

代かき・田植、間断かん水期は、交替で出務し対応いたします。

TEL 0238 - 88 - 9331

FAX 0238 - 88 - 9348

【じんごんごまどした】

平成二十一年三月三十一日をもって樋口管理課長(三十三年勤務)が退職されました。今後は健康に留意され、益々のご活躍を念ずるしだいです。